

## 1 子供たちの自信と誇り・ウェルビーイングの向上

- (1) とても興味深い取り組みです。参加した子供達は、一生忘れられない良い思い出になると思います。また子供のころからウェルビーイングを意識する良いチャンスにもなると思います。
- (2) 実際に現地体験するエクスカーションにおいては、各国大臣と子供達が一緒に行動し、体感や感動を共に得ることで、より富山の素晴らしさを実感できるのではないかと考えます。
- (3) 子どもたちがウェルビーイング向上のために取り組む姿を視察してもらう
  - ◆ 毎年の「とやまこども舞台芸術祭」や、4年に一度の「とやま世界こども舞台芸術祭」PAT などに向けた、富山県内の子どもたちの洋舞、吹奏楽、邦楽、太鼓、民謡民舞などの練習や実演の様子が分かる機会として、視察の時期にマッチングするかを各団体に照会する。
- (4) 富山県の特別支援学校では、障害のある子供たち一人一人に応じた自立と社会参加に向け、ICTを活用した「生きる力」を育むための様々な学習に取り組んでいます。ICTは、誰一人取り残さない世界の実現に向け、障害のある子供たちの可能性や選択肢を広げ、共に社会を作っていく全ての子供たちのウェルビーイングを高めるために有効であり、今後も効果的な活用を推進することが重要です。
- (5) 子供たちが産業の歴史、ものづくりの心に触れることにより、地域への愛着、地元企業への就職意識を育む産業観光（体験型修学旅行）の推進

## 2 富山県ならではの魅力発信

- (1) とても影響力が大きい国を代表する方々がお越しになるので、この機会をとらえて富山のファンになってもらえるよう、富山ならではの魅力を発信してほしい。そして今後のインバウンド増につながればいいと思います。
- (2) 5月の立山 2450m「雪の大谷」は世界唯一の自然風景であり、海に近い富山市内から短時間で行くことのできる希少性ある世界有数の山岳観光地です。ぜひエクスカーション訪問地として採用して頂きたいと考えております。
- (3) 富山県の高い教育力の背景となる先進的な取り組み
  - ◆ 1983年の「富山国際アマチュア演劇祭」以来、「第4回とやま世界こども舞台芸術祭 PAT2022」まで、子どもと大人が参加する国際交流フェスティバルを定期的に行い、レベルの高い公演を行うとともに、身近に世界の舞台にふれることで、多くの若い舞台芸術家を育ててきた。
  - ◆ 世界の国際フェスティバルに、子どもたちの合唱・吹奏楽・洋舞などの団体を送りだし、高い評価を受け、子どもの成長を促すとともに、人と人がつながる国際交流に寄与してきた。

(4) 富山県が誇る自然・伝統文化をプッシュ型でPRする

- ◆ 英語で富山を紹介する冊子などを作成・配布するとともに、WEB 上に掲載する。
  - ・ 富山県教育委員会が作成し、高校生が英語で富山の魅力を発信する冊子として、いくつかの高校で使われている” let’ s talk about KITOKITO TOYAMA” 2013(平成 25)、または、これを元に芸文協が作成した” TOYAMA JAPAN” 2021 を改訂し、広く配布する。
  - ・ 併せて、これらの冊子を使い、国際交流活動に活用している高校などの授業視察を検討する。
- ◆ 「白川郷・五箇山の合掌造り集落」が 1995 年にユネスコの世界文化遺産指定された理由は、日本独特の木造構造とともに、数百年の間森林を守り、有効活用し、自然と人間が共生してきたことだった。環境保護の時代に、示唆的な文化遺産となっている。現在、いくつかの学校が、実習や見学を通じて学んでいる。
- ◆ 富山県では、利賀村の富山県利賀芸術公園での SCOT の鈴木忠志氏を中心とした「世界演劇祭」が行われ、世界的な演劇拠点となっており、大自然を舞台に取り込んだ独自の演劇空間を創りだしている。

(5) 両県の魅力や強みを共有し、ストーリー性を持たせて情報発信する

- ◆ 「白川郷・五箇山の合掌造り集落」が 1995 年にユネスコの世界文化遺産指定された理由は、日本独特の木造構造とともに、数百年の間森林を守り、有効活用し、自然と人間が共生してきたことだった。

その後、石川県の「能登の里山里海」が 2011 年に世界農業遺産に認定、また、バリ島の水利システム「スバック」による棚田地域の文化的景観が、2012 年のユネスコの世界文化遺産指定につながった。

自然と人間の共生が生み出した独自の景観が、富山県と石川県の世界的な遺産に共通しており、人類の大きな課題である環境問題を考える際に、大きな示唆を与えている。
- ◆ 富山県では、利賀村の富山県利賀芸術公園での SCOT の鈴木忠志氏を中心とした「世界演劇祭」が行われ、世界的な演劇拠点となっている。石川県では、能登半島の「能登演劇堂」で、俳優 仲代達矢が中心となる演劇活動を行っている。

演劇のジャンルや対象、規模は異なるが、北陸の大自然を舞台に取り込んだ独自の演劇空間を創りだしている。

(6) 世界に誇る山岳観光(立山黒部アルペンルート、黒部宇奈月キャニオンルート)、世界遺産(五箇山)のPR・魅力発信

富山の豊かな水が育んだ富山湾(世界で最も美しい湾クラブ)、米や魚などの食文化の魅力発信

富山の教育、自然、文化、歴史、産業を紹介する英語版動画の作成・活用

- (7) 今回の G7 教育省大臣会合開催にあたり、弊社としても積極的にご協力させていただきたい。予定されている地元主催エクスカージョンでご視察をされる際には、黒四発電所、黒部ダムのご視察等、ご協力させていただく用意がある。

### 3 石川県との共同開催の相乗効果

- (1) 内容にダブリがないよう、富山と石川の個性がうまくコラボできれば最高だと思います。
- (2) 訪日客の日本イメージは「京都(伝統文化)」+「富士山(自然風景)」が一般的です。石川+富山で新しいイメージ「金沢」+「立山」を発信して、今後に繋げて行く PR 効果は大きいと考えております。
- (3) 富山大学と金沢大学の共同教員養成課程があり、共同開催により、さらに教育面での連携と発展が期待できる。
- (4) 統一テーマによるエクスカージョンの企画・実施(加賀、能登、越中、金沢の歴史と文化をテーマに万葉集、高岡町人文化、瑞龍寺、勝興寺など)

### 4 その他

- (1) 各国の代表者に“富山”を印象付ける絶好の機会なので、まずは、その玄関口となる富山駅や空港において、最大限の歓迎の意や富山の魅力をアピールしていただきたい。
- (2) 前回の G7 富山環境大臣会合の開催を受けて、開催地及び会議施設の信頼が高まり、国際 MICE 都市としての富山の知名度を高め、環境関係をはじめ各種の学会・大会の誘致に結び付いている。今回の G7 教育大臣会合の成功は、更なる学会・大会の誘致に大きく資するものと考えます。
- (3) 駅、空港周辺等の外国人が理解される多言語案内の充実。県民からの声かけなどホスピタリティマインドの醸成
- (4) 世界と比べて日本の教育レベルや大学の評価等が低下している。また、平均レベルもそうだが、世界トップレベルの人材が育っていないため、例えば、将来のノーベル賞受賞者も期待できないのではないか。これら、日本の教育や研究開発が危機的状況にあることを、日本国民が実感でき、再び世界のトップクラスの教育国・研究開発国に戻るきっかけの会合にしてほしい。